

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立湖北中学校）

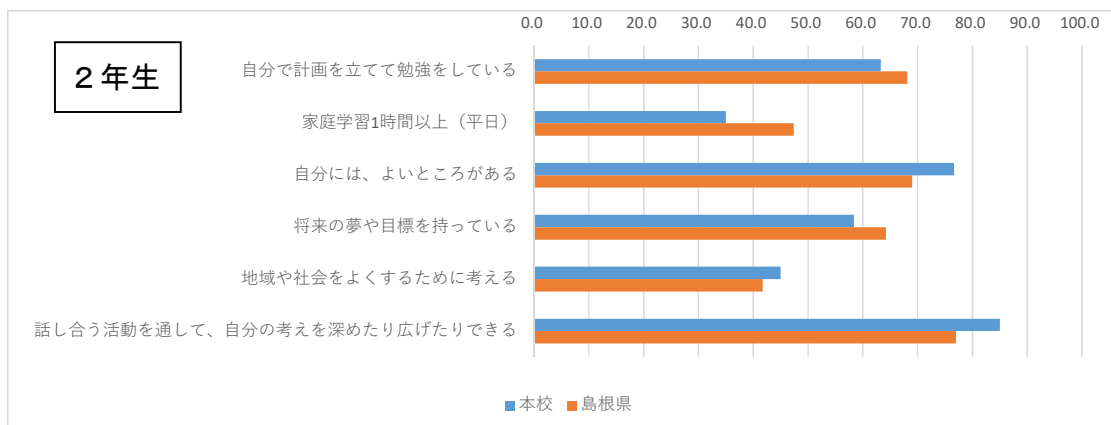
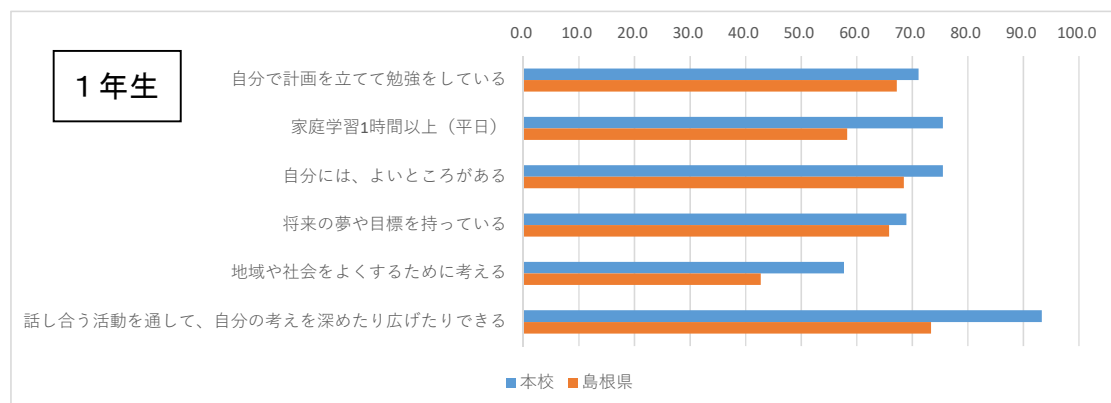
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年 国 語	○漢字の書きや歴史的仮名遣いの読み方など、基礎的な内容は身に付いている。 ●描写や叙述を根拠にして正確に読み取ること、読み取った内容を表現することに課題がある。無回答率も高いため、書く活動に繰り返し取り組む必要がある。	2 年 国 語	○全般的に力を付けている。中でも「文法・語句」「文学的な文章の読解」「文章を書く」の結果が特に高い。 ●「説明的な文章の読解」にやや課題があるので、複数の情報を整理しながら内容を捉える学習に力を入れる必要がある。
1 年 数 学	○正の数・負の数の計算は身に付いている。 ○整数係数の方程式を解くことができる。 ●分数を含む計算や方程式を解くことに課題がある。 ●記述式の問題を数学的な表現を使って答えることに課題がある。	2 年 数 学	○全体的に計算能力は付いてきている。また、一次関数の式を求めることができるようになってきている。 ●問題を解いているが、問題文から数量関係を認識し立式することや、式が意味することを理解することに課題があり、表現についても学習を深める必要がある。
1 年 英 語	○好きな季節について書くなど自由英作文には慣れており、正答率が高い。要点や概要を読み取る・聞き取ることが概ねできている。 ●代名詞が何を指すかなど、細かい部分の読み取りが不十分である。基礎的な文法の知識の復習が必要である。	2 年 英 語	○短い英文を聞き取ることができる。 ●やや長めの対話文の聞き取りに課題がある。 ●場面に応じて書く英作文を含め、文法に従って正確な英文を書く力が低い。基礎的な文法の知識の復習が必要である。

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年	○学校や地域が好きな生徒、将来の夢や目標をもっている生徒、話合い活動に意義を感じている生徒が多い。 ○回答者全員、自分の力をできるかぎり伸ばしたいと考えており、家庭学習の定着度も高い。 ●「自分は、先生から認められている」と思っている生徒が、中位層では少なく教員の関わりを深める必要がある。	2 年	○学校が好きな生徒、自分が住んでいる地域が好きな生徒が多く、地域行事に積極的に参加している。 ●家庭学習の時間が少ない。また、将来の夢や目標をまだもっていない生徒がいるので、進路学習とつなげて家庭学習の充実を図りたい。
--------	---	--------	--

(3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 45名 2年生 29名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。